

# 授業科目 運動傷害対応論実習

【担当教員名】 大森 豪		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーを目指して、運動により発生する障害の評価、診断を理解し、スポーツ復帰への介助法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上肢、下肢、体幹のスポーツ外傷・障害についての診断方法、画像診断、徒手検査法を理解する。</li> <li>2. スポーツ障害発生時の対応、スポーツ復帰への補助手段を理解する。</li> <li>3. 対象者の機能評価からアスレティックリハビリテーションメニューを立案する。</li> <li>4. 対象者にアスレティックリハビリテーションメニューを実践する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックリハビリテーションの考え方				
2	運動療法の基礎知識				
3	運動療法の基礎知識 関節可動域、神経筋協調性回復エクササイズ				
4	運動療法の基礎知識 全身持久力回復、身体組成管理のエクササイズ				
5	物理療法の基礎知識（1）物理療法の基礎、使用法、適応について				
6	物理療法の基礎知識（2）物理療法の紹介				
7	補装具の使用に関する基礎知識				
8	下肢スポーツ外傷・障害の診断方法				
9	上肢スポーツ外傷・障害の診断方法				
10	体幹スポーツ外傷・障害の診断方法				
11	アスレティックリハビリテーションの実際（1）初期におけるプログラム立案				
12	アスレティックリハビリテーションの実際（2）初期プログラムの実践				
13	アスレティックリハビリテーションの実際（3）後期におけるメニュー立案				
14	アスレティックリハビリテーションの実際（4）後期プログラムの実践				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト（7）		日本体育協会	
その他の資料					
【評価方法】 レポートもしくは試験実施予定			【履修上の留意点】		